

(1) 市議会議員候補

気仙沼市選挙公報

令和4年4月24日執行
気仙沼市選挙管理委員会

初志貫徹 鈴木たかと

私の目指す まちづくり

子供から高齢者まで仲良く暮らせる社会づくり
子どもや若者が、人生の先輩である高齢者から生き方を学べる地域社会の復活を目指します。

産業発展の地域づくり
基幹産業である農水産業の持続的推進と、新たなシンボルを活かした観光産業とをコラボし、多くの誘客を図ります。

自然と共生する現代社会の構築
元来、当地が持つ豊かな自然環境を保全しながらも、より良い住みやすさの創造を次世代につなぎます。

若者が戻りたくなる故郷づくり
高い教育を受けへく故郷を離れた若者が、「地元に戻りたい」「ふるさとで働きたい」と思えるような魅力あるまちづくりを目指します。

プロフィール
1962年8月13日生まれ(59歳・寅年) / 気仙沼高校卒業 / 仙台大学体育学部中退 / 平成11年4月唐桑町議会選挙初当選 / 平成18年4月合併に伴う新気仙沼市議会選挙当選 / 総務教育常任委員会委員長 / 大島架橋唐桑最短期建設促進特別委員会委員長 / 議会広報特別委員会委員長 / 予算審査特別委員会委員長

主な経歴
気仙沼市スポーツ推進委員協議会副会長
気仙沼本吉地区スポーツ推進委員協議会副会長
総合型地域クラブ「カラット」理事長
日本体育協会公認スポーツ指導員

推薦
総合型地域クラブ「カラット」推薦

白川 ゆうじ

現場を走る!!

生まれ育った気仙沼市で、未来に希望を持ち、安心して子育てができる環境と安全に暮らせる街を実現するために全力で頑張っています。

めざします

- 長期化するコロナ禍に対して市独自の支援
- 漁業や観光業など地元基幹産業を充実
- 希望あふれる就労と若者の定住支援
- 利便性の高い公共交通へ改善
- 安心できる地域での医療体制の充実

経歴
◆昭和51年2月16日気仙沼市大島で生まれ育つ
大島小学校、大島中学校、米谷工業高校卒業
◆公明党気仙沼支部副支部長
【資格】2級自動車整備士、自動車検査員

遠藤 ひでかず

遠藤ひでかズのFacebookはこちら
https://www.facebook.com/hidekazu.endo.3

プロフィール

○1968年4月6日生まれ
○主な経歴
昭和59年 3月 唐桑中学校卒業
昭和62年 3月 気仙沼高等学校卒業
平成2年 4月 本吉町役場に奉職 農林畜産課勤務
平成4年 1月 帰郷により唐桑町山崎山へ転居(仮称から遠藤へ改姓)
平成7年 4月 農林畜産課へ異動
平成14年 4月 水産課へ異動
平成17年 4月 産業振興課へ異動
平成26年 4月 産業振興課へ異動
令和2年 4月 本吉総合支所建設課へ異動
令和3年 12月 気仙沼市となる
令和4年 2月 自己都合により3月4日1ヶ月で退職(うち27年1ヶ月は 産業関係に携わる)

多くの一次産業の皆様に支えられて仕事をしています。物価が高騰する中、なぜ農作物等の市場価格は上がらないのでしょうか。このような疑問を解明しながら、少しでも一次産業の皆様の所得が上がるよう地域産業の発展を目指します。

また、私自身障がいを持つ子の親として、障がい者福祉の充実を目指します。

遠藤 秀和

千葉 よしと

今までも！これからも！（徳田屋）

経験と実行力

故郷の新しい未来をめざして！

- 復興の後・・・未来に向けて「持続可能な発展を目指す故郷」をつくります
- 定住促進、生活の基盤を支える「既存産業の育成、企業の誘致」を図ります
- 未来を担う子どもたちのために「子育て、教育環境の整備」を推進します
- 住民の意見を市政に生かす「市民総参加のまちづくりの推進」をお手伝いします

プロフィール
昭和38年生 58歳
岩手大学農学部卒業
元本吉商工会青年部長
元気仙沼JC理事長
元気高・西高PTA会長
元本吉町議(1期)
現気仙沼市議(4期)
現気仙沼市議会副議長
現気仙沼7ツツツ 協会副会長

三浦 友幸 41歳

みんなで作る希望のあるまちへ

プロフィール
本吉町前浜出身在住・屋号「上表」
大谷小中学校・気仙沼高校 卒業
山形大学理学部数理解科学科 卒業
大谷大漁唄い込み保存会 会員
大谷里海づくり検討委員会 事務局長
2018年 気仙沼市議会議員に初当選

次の4年間で目指すこと

- 少子高齢化と人口減少への対策
- コロナ対策と地域産業の支援
- 市民参加と協働のまちづくり
- 自然との共生と文化歴史を大切にすまち
- 誰も取り残されない社会

三浦 よしき

行動力・実行力で皆様のお役に立ちます

私は常に市民皆様の立場に立ち対話と行動力で課題に取り組み、活力ある地域社会を実現するため努力してまいります

皆様の温かいご支持ご支援を賜りますようお願い申し上げます

行政経験を活かし市民の声が市政に反映されるよう全力で取り組みます

- 協働のまちづくり推進
- 震災復興の完遂
- 障がい者福祉の充実と健康長寿社会の構築
- 産業の振興と道路網の整備促進
- 防災対策の充実と安心で安全なまちづくり
- 海岸の有効活用・環境保全とマリンスポーツの振興
- 児童福祉の充実と義務教育環境の整備

小野寺 おさむ

コロナを超え 未来を拓こう

公約

- 経済対策支援
- 医療施設の充実
- 福祉施設対策
- 水産業支援

プロフィール

- 昭和28年8月25日生まれ 68才(令和4年1月1日現在)
- 昭和47年 宮城県気仙沼高等学校卒業
- 昭和51年 東北学院大学経済学部 4年中退
- 平成13年6月～25年4月 気仙沼市議会議員
- 平成30年～令和4年現在 気仙沼市議会議員
- 行政書士小野寺修事務所・小野寺損害保険事務所 小野寺防災設備(各自営)

くまがい 一平

気仙沼市議会議員候補者

あの大震災から11年。市民の皆さまや、多くの皆さまの努力により気仙沼は復興を果たしてきました。しかし、目の前には人口減少、新型コロナウイルス感染症等の課題が立ちはだかっています。私は、気仙沼産業の強さ、人の温かさという気仙沼の良さを活かしながら、デジタル化と多様性のある生き方といった時代の流れを取り入れて新しい気仙沼を創り、この困難を乗り越えていきたいと考えております。

宮城県庁での14年の行政経験と、市議会議員1期4年の政治経験を活かし、明るい未来に向かって気仙沼をさらに前へと推し進めて参ります。

気仙沼を未来へ進める4つの「前へ！」(政策抜粋)

- 経済・産業を前へ!**
●若者のための雇用創出
●地元企業の売上アップ・経営支援
- 市民の暮らしを前へ!**
●子どもが元気に育つ環境づくりと支援
●高齢者や障がい者も安心できるまちづくり
- 時代の流れを掴んで前へ!**
●デジタル化などで新しい生活スタイルを推進
●多様性を受け入れ合える社会へ
- 政治・行政を前へ!**
●議員定数の削減・報酬・政務活動費の適正化
●情報発信、決められる議会への改革

村上すすむ

命と暮らしを守る市政

市議選公約

- 震災復興のその先を見据えて
- 安心の医療や介護、福祉の充実
- 子供の未来のために
- 顔に汗して働く者が主人公の社会
- 平和憲法を守り、平和行政を推進
- 議会改革を推進

プロフィール

1956年1月16日、唐桑に生まれる。満66歳。
1975年4月、唐桑町役場へ入職。
1991年3月退職。町議へ挑戦し、当選3期12年務める。
2003年4月、2007年4月に県議選に挑戦し惜敗。
2010年4月、気仙沼市議会議員に立候補し当選。現在3期目。

議会内では
議会運営委員会委員 民生常任委員会委員 新庁舎建設調査特別委員会委員長
東日本大震災調査特別委員会副委員長 唐桑最短建設特別委員会委員 など

地域では
社民フォーラム宮城常任幹事 気仙沼向洋高校同窓会会長
気仙沼市青少年育成協議会副会長 2019年1月 防災士に認定 など

大切な一票は 村上すすむ に託して下さい

立憲民主党

高橋 清男

行政財政の健全化と議員定数削減 再度提言する。

○令和3年から7年までの5か年の市の計画では、人口は毎年1,000人以上減少し、令和4年中に6万人を割る。(既に2月に6万人を割った。)

・復興事業も進み、投資である建設事業が落ち込むなか、復興施設の維持管理費が増え、支出より、収入が少ない財源不足が予想されている。

○市の財政展望は厳しく、そのために大きな改革が求められる。

・基本的な産業である、農・漁業への改革と見直しが必要。新しい産業への転換と、新観光産業などの開拓が必要。新事業の誘致と、それらを事業とする新会社の誘致が求められる。

○事業や誘致に着手しても、立ち上げや、成功するまで時間が必要でありこの間は待ちであり、努力と忍耐が必要である。

・市は令和3年から7年まで約400人近くの職員整理の計画を示し、人権費や補助費を見直し、支出を抑える。

○職員だけで良いのでしょうか。議員数も削減。

あきら 白幡 章

世界につながる豊かな地方を!

暮らしに安心を... 復興のその先へ... 地域に豊かさを...

白幡章はこんな男です...
昭和39年、気仙沼大島長崎に生まれる。(赤羽根)
北かつで漁業に携わり、ヨネキ商店で農業に接してきました。
この経験を活かし、未来に架橋していきます。

保健康・福祉・医療・介護を充実させます。
高齢化社会の課題に全力で取り組みます。

災害公営・集団移転地の孤立化防止に取り組みます。
買取宅地の集約化に取り組みます。

農漁業の恵みで世界とつながります。
食は世界の共通語、地場産品の加工に未来があります。

子育てへの支援に取り組みます。

今川 悟

「新しい気仙沼を創ろう」
人口減少に負けない100の公約

東日本大震災からの復興は最終仕上げに入り、限られた予算入り少したる一方、地域の衰退が大きな課題となり、少子化はさらに加速してまいります。

気仙沼市は移住定住の促進、次代を担うまちづくり人材の育成、交流人口を生み出す観光の振興に力を入れています。今後は財政状況が厳しく、財政負担が大きいまま、未来に大きなツケを残すことになるのです。

この時代の議員に求められるのは、厳しい決断です。あれもこれも、もったいない成長の時代から、あれがこれかの選択と持続の時代へ。地域のことで、さらに広域の連携へと視野を

を上げ、既存の事業を見直し、限られた予算や人員を効果的に活用していかなければなりません。

人口減少の中でも希望を失わないために、前例にとられない新しい発想が必要で、より具体的に取組むため、100の公約を用意して今川悟ホームページで公開しています。

継続課題も多く、議員8年間の経験、15年間の新聞記者時代に培った情報収集力、折力、ネットワーキング、調整力、自衛隊で蓄えた体力と根性は発揮します。今後は議会が最大の限発揮するための改革にも力を入れます。厳しい選挙戦となりそうです。応援をお願いします。

47歳。面瀬地区。子育て中。元三陸新報記者。面瀬中学校1回生。気仙沼西高校卒業。

男性だけの議会？ う〜ん… やっぱ、女性議員がいなくちゃ！

気仙沼市議会議員候補者

村上のぶこ



女性が変わり、男性が変わる。気仙沼が変わる。

★村上のぶこを形づくる キーワード

- *男女協働、共生で皆が幸せに
*LGBTQを知ると視野が広がるよ
*多文化共生で世界を学ぶ
*孤独と孤立に取り組みたい
*多様な学びと生き方が選べたら嬉しいね

昔から、地図帳を開き、見知らぬ国を訪れ、知らない誰かとお出会う空想を楽しみました。議員の生活は、地図の世界と似ています。誰かとの話の中で、初めて訪れる家や場所で、その人の気持ちやその場所の見えない背景に思いを馳せませう。これからどんな道を探し、辿っていくかを考えるのが議員の仕事となるのです。地図を頼りに、一緒に道を歩き、迷わないよう、目的地につけるようサポートができる人間でありたいです。

『復興完結』そして『未来』へ！ 一 高齢者などの足（交通機関）が大変ですー 及川よしたか



よしたか 及川善賢
昭和37年 7月1日生まれ(59才)
昭和53年 本吉町立小泉中学校 卒業
昭和56年 宮城県農業高等学校 卒業
昭和58年 宮城県農業短期大学(蘭芸) 卒業
元 JA南三陸 職員
元 本吉町議会 議員
元 気仙沼市 議会議員
元 気仙沼市 監査委員

- ◆「高齢者の元気」高齢者などの足（交通機関）が大変です。病院に行く足（交通機関）、買い物などに行く足（交通機関）、充実した「市民バス導入」や「タクシー券補助導入」など地域課題に取り組みます。
◆「くらしの元気」結婚、出産、子育ての環境を、地域みんなでつくり、「明るい、子供たちの元気」を育てたい。
◆「地域の元気」小泉海岸をスタートして、選手500人あまりのトライアスロン大会（スイム15分、自転車40分、ラン10分）の誘致をしたい。

1 「常に現場在りき」の精神でその現場に臨み、確認し、行動、実践します。

2 市民の皆さんと目線を同じにし、顔をあわせた対話を積極的にを行います。

むらかみけいち 村上佳市の基本姿勢



昭和32年7月26日生まれ 64才
昭和51年3月 気仙沼高等学校卒業
平成17年6月 市議会議員に初当選
現職 産業建設常任委員会委員長
現職 気仙沼市松島地区防犯協会会長
現職 気仙沼アニス協会副会長
前職 気仙沼信用金庫職員
元 気仙沼市PTA連合会会長
元 気仙沼市立松島小・中学校PTA会長
元 宮城県気仙沼高等学校PTA会長
元 東陽高等学校後援会会長

3 市民の皆さんとともに汗を流し、目標に向かって積極的に活動します。

4 市議会では、皆さんの声を反映させるため、積極的に発言し、市民生活の向上に努力してまいります。

村上佳市は約束します。

「常に市民の皆さんに寄り添った活動を実践し、市民生活向上のため努力します。」

地域と共に
コロナ感染防止と社会経済活動の両立
地域コミュニティ形成の為に自治会支援
人口減少緩和対策の推進
結婚・子育て・医療・介護の充実
新庁舎建設事業の推進
市役所移転に係る「まちなかエリア」事業推進
生涯スポーツの推進
（人生100年時代健康寿命の延命）
（人生100年時代健康寿命の延命）
若者から高齢者まで「住んでよかった」と思える街の実現を目指します

まこと
昭和四十九年日本大学商学部卒業
平成十三年市議会議員当選
平成二十二年市議会議員
現職 白鳥倉庫 代表取締役
現住 所 気仙沼市後九条

アイデアと行動力で気仙沼を元気にする！

佐藤けんじ



気仙沼市に住み続けたい、安心して子どもを育てられる「まち」にするために、気仙沼市の発展を担う若者や市民の皆様の声を反映しながら、分かりやすい議員活動をしてまいります

- ★プロフィール・役職★ 昭和42年2月生まれ 55歳 九条小学校、条南中学校、気仙沼高校卒業
・平成13年 旧気仙沼市議会議員初当選 ・議会改革調査特別委員会委員長 ・気仙沼市防犯協会会長
・気仙沼市監査委員歴任(議会選出) ・建設・民生常任委員会委員長歴任 ・条南地区スポーツ振興会会長

菅原俊朗
プロフィール
昭和24年12月5日生(72歳)
昭和43年3月 宮城県気仙沼高等学校(普通科)卒業
昭和43年4月 東京新報 丸正に就職(青果物バイヤー)
昭和45年4月 家業 菅原商店に就任
その後菅原商店に改称現在に至る
(現職) 気仙沼市商店街連合会会長
気仙沼市中小企業・小規模企業振興会議員
気仙沼市都市計画審議会委員
気仙沼市産業復興推進協議会委員
気仙沼市下水道事業運営審議会副会長
気仙沼市観光客受入れ態勢整備推進協議会副会長
気仙沼商工会議所常務議員
気仙沼観光コンベンション協会理事
気仙沼駅前通り商和会会長
宮城県たばこ販売協同組合副理事長
宮城県たばこ販売協同組合副理事長
見せませ、シニアの底力！実績と経験で新風を!!
すがわら としろう
～皆さんとお約束する公約～
1. 気仙沼限定「割増商品券」の実現と「商店街補助金」の増額
2. 「商店街活性化委員会」の立ち上げ
3. JR気仙沼駅前のにぎわいづくりに向けた環境整備
4. 観光産業への支援策充実
5. 農業振興策の強化
6. 地域福祉、子育て環境の向上に向けた支援策強化
7. 自治会など地域活動に対する予算、支援の拡充
気仙沼市古町2丁目3番24号

みやこや 馨まさひろ



みどりの真珠を守りたい!!

- みどりの真珠を守り、豊かな海と自然を取りもどしたい
●大島観光の受け入れ態勢をより整備します

議員定数を削減します!!

- 議員定数削減と議会改革を目指します
●これからも議員活動報告をお届けします

プロフィール
1952年1月 大島生
1970年3月 気仙沼高校卒業
(株)たち吉入社
1974年5月 仙台、神戸、横浜、東京各店の店長として勤務
(株)たち吉退社
2001年3月 大島にもどり(株)宮古屋代表取締役就任
2011年7月 市議に初当選(現在2期目)
2014年4月

何よりも市民の命と暮らしをまもって

- 原発処理水(汚染水)の海洋放出撤回
災害公営住宅の家賃低減制度の延長
住宅リフォーム助成の継続
学校給食の無償化
補聴器購入への助成
憲法9条守り、平和行政の推進
コロナ禍対策の充実

日本共産党 あきやま 善治郎
秋山ゼンゾー
身近に役立ち、市民の立場で筋を通す。

子どもたちの笑顔が 気仙沼 だから 元気のみなもとです。

人口減少・少子化問題は待たなし。活力と賑わいの創出、市経済の活性化も急務です。

熊谷しんいち



とうげくまがい伸一
東北学院大学経済学部 第3代 副部長
現在 東北学院大学経済学部 第5代 副部長
元 日本大学東北校 学長
元 東北学院大学 学長
元 東北学院大学 学長
元 東北学院大学 学長

次の世代へしっかりと引き継ぐために 全力で取り組みます!

Table with 2 columns: 暮らし (Living) and 子育て (Child-rearing). Topics include disaster recovery, economic revitalization, and social security.

55歳、6人家族 4人の息子の父 ききたあつし
暮らしと賑わいの整備促進
新たな防災・減災体制の整備促進
福祉と教育環境の整備促進
暮らしと賑わいの整備促進
暮らしと賑わいの整備促進
暮らしと賑わいの整備促進

市議会議員の『結ぶ力』が左右する!

- ①地域自治力の強化
・小規模多機能自治の実現
・地域活動団体との協働強化
・防災をテコとした地域活動
②住民力を生かした学校教育と子育て環境の充実
・市民全員で子育てに取り組む環境づくり
・コミュニティスクールと小中連携教育の推進
・スポーツの学社連携教育の推進
③国、県、市、地域の確かな連携
・国会議員、県議員との強固な連携による予算確保の実現

菅原ゆうじ



「忘己利他」
我欲を捨てて
他を利する

菅原せいき
このまちの未来を考え、活力ある気仙沼に
◆スローガン
復興の完遂
農業・商工業の振興
健康福祉社会の実現
子育て支援と教育対策

(3) 市議会議員
候補者

気仙沼市
選挙公報

令和4年4月24日執行
気仙沼市選挙管理委員会

佐藤としあき

復興の
その先へ



◇地域産業の振興

- ・持続可能な地域産業
- ・沿岸漁業の推進

◇地域の活性化

- ・賑わいと観光振興
- ・雇用安定と労働環境
- ・自分らしく暮らせるまち
- ・災害に強いまち
- ・議員定数の削減

活動歴

- 階上小学校手をつなぐ親の会会長
- 気仙沼市手をつなぐ親の会連合会会長
- 階上小・中学校・気仙沼西高等学校 PTA 会長
- 階上中学校同窓会副会長
- 階上まちづくり協議会会長
- (一般社団法人)気仙沼復興協会理事
- 全国漁業協同組合学校同窓会理事
- 岩井崎明戸虎舞保存会会長
- 気仙沼地区保護司

プロフィール

昭和33年10月24日階上生まれ(63歳)
・気仙沼市立階上小・中学校卒業
・宮城県立津谷高等学校卒業
・全国漁業協同組合学校卒業
・昭和52年2月階上漁業協同組合入組
・宮城県漁業協同組合気仙沼総合支所長
～平成29年12月末退職(在職40年10ヶ月)
・平成30年気仙沼市議会議員に初当選

立憲民主党
公認

小野寺としろう



- 安心して生活できる環境の整備に取り組みます
- 子育て・教育の充実をめざします
- 産業の振興・活性化に取り組みます
- 唐桑最短道の早期実現をめざします

おの でら としろう
小野寺 俊朗

1956年 8月生まれ 65歳
1977年 国立一関工業
高等専門学校卒業
1977年 気仙沼市役所入職
2001年～ 気仙沼市議会議員

投票日

4月24日(日)

午前7時から午後6時まで

これからのまちづくりを進める「市民の代表」を決める
もっとも身近で大切な選挙です。

私たちの思いや願いをまちづくりに反映させるために
棄権しないで投票しましょう。

投票が 明るい未来の 始発点

第13回 明るい選挙啓発標語 優秀賞